

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス新所沢教室		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	60名	(回答者数) 34名
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月9日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ハッピーテラスの週間テーマに応じた多様なプログラム(トレーニング)と、全員が楽しめるような多様なイベント活動を提供し、楽しく通所できる環境を整えられている。	生徒や保護者の要望を聞き、支援目標と照らし合わせ、楽しく取り組むことができるようにしている。マンネリ化しないよう、好評なものであっても毎回同じ内容とならないようにしている。	生徒企画の活動を増やし、自分たちで考える力を伸ばし、話し合いをすることでコミュニケーションスキルを伸ばしていけるようにすることを目的として、主体的な活動を通して楽しみ、やりがいをもって参加できるよう取り組んでいる。
2	毎月発行している月次短冊(ふりかえり)を通して、報告を定期的に行っている。	成長したこと、楽しんで参加できていること、困り感など、自主通所をしていて送迎時の口頭でのフィードバックを毎回行っていない保護者にも様子が伝わるように作成している。	支援スキルの向上をはかるための研修や、個別支援計画作成スキルを向上させるための研修をこれまで以上に充実させていき、全体のスキルアップを目指す。
3	学期ごとの定期面談を実施している。それ以外にも、要望のある方向けに個別面談を実施し、関わり方や進路の相談を実施している。	来所が難しい場合には電話での相談も行い、定期的な面談を必ず実施できるようにしている。要望を聞く、助言をする等で、困り感がなるべく少なくなるよう工夫している。	様々な他機関との連携を通して、在学中だけでなく卒業後のバトンパスがスムーズになるようにしている。今後さらに連携先を増やし、提供できる情報を充実させていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会、保護者向けのプログラムが不足している。コロナ禍以降、あまり実施できていない。	コロナ禍で中止したことにより、再開することができていない。その間に利用者層にも大きく変化があり、要望の取りまとめや、企画に時間を要していることで、再開に至らない。	以前と比較して、利用者層が大きく変化したことで、実施すべき内容にも変化があると見込まれる。実施予定の保護者参加型のイベントを通して、ニーズを聞き取り実施に繋げたい。
2	事業所の設備について、完全なバリアフリーとは言えない箇所がある。	玄関と駐車スペースに段差があり、またタイルが剥がれている箇所があり、生徒が転倒するリスクがある。	駐車スペースが教室前にある関係があり、段差の解消が難しいため、転倒を予防する声掛けを行う必要がある。タイルについては修繕を実施する。
3			